

## ◆重点普及課題

# 海ぶどうブランド化対策 (海ぶどうブランド化指針マニュアルの策定)

水産業改良普及センター 吉田聰・紫波俊介

### 1. 目的

消費者へ安全・安心かつ高品質なブランド海ぶどうを提供するため、海ぶどうの生産から流通に至る過程において、生産者等が遵守すべき基準をまとめた「沖縄県海ぶどうブランド化指針（以下、「指針」）」が平成23年5月25日に策定されている。

生産者が本基準に則った海ぶどうを生産するには、具体的に基準を守る工程管理手法のマニュアルが必要であることから、工程管理手法の開発および視覚的にわかりやすいマニュアルの作成を目的とする。

### 2. 方法

海藻類沖縄ブランド化事業（H22～H24年）で水産課内に設置された、生産 WT（2回開催）、衛生 WT（1回開催）、流通 WT（1回開催）の各 WT でマニュアル内容を検討し、最終的に一本化したマニュアルの作成を行う。

#### <生産 WT >

チームリーダー 紫波俊介（普及セ）

チーム員 吉田聰（普及セ）、仲村実頼（水産課）、山田真之（水海研）、オブザーバー 大城和也、石川明（恩納村漁協）

#### <衛生 WT >

チームリーダー 吉田聰（普及セ）

チーム員 紫波俊介（普及セ）、仲村実頼（水産課）、杉山昭博（水海研）、仲盛淳（水海研）、久高潤（衛研）、オブザーバー 屋比久善昭（沖縄環境科学センター）、大城和也、石川明（恩納村漁協）

#### <流通 WT >

チームリーダー 仲村実頼（水産課）

チーム員 紫波俊介（普及セ）、吉田聰（普及セ）、松尾和彦（水海研、オブザーバー 大城和也、石川明（恩納村漁協）

### 3. 結果

マニュアル作成は衛生部分に関する検討事項が多いことから、衛生 WT の中でマニュアル全体の構成を検討し、衛生マニュアルにて様式を検討・作成後、生産、流通のマニュアルを作成し、統一性をもたせた。内容については昨年度の衛生 WT 最終会議において、内容が生産者には難解であるとのメンバーからの指摘を受け、イラストや写真を多様するなど大幅に改良し、生産、衛生、流通の各 WT で検討した重要管理点を中心に記述し、全部で120部を作成した。また、現場ごとに施設整備状況が異なることから、様々な施設で使えるように、ページの抜き差しが可能なファイル仕様とした。

